

学習院同窓会桜友会は

新たに開かれた学校で学ぶ全ての者の精神として
初等科生から大学院生までに分かりやすい言葉「正直第一」や
自分を大切にして互いに敬い合う「自重互敬」を示しました。
いまもどう生きるかの指針として、これらの言葉を擧げる桜友会員が多くいます。

第十代学習院院長乃木希典が掲げた「質実剛健」や
学習院出身の白権派の作家たちが広めた「人道主義」「理想主義」は
桜友会に脈々と受け継がれている精神です。

享受した伝統と教育を生涯を通じて大切にし、親睦を深めること

在校の園児・児童・生徒・学生を支援すること

そして学習院院歌にある「もろともに世にぞ捧げん」を胸に刻み

さらに持続発展させることが私達の使命です。

2027年に学校法人学習院は創立150周年を迎えます



設立100周年を迎えた。

弘化四年（1847年）、京都で公家子弟の学問所としてスタートした学習院は明治十年（1877年）には、新たに東京・神田錦町で開校しました。

「桜友会」は大正十年（1921年）に卒業生による同窓会組織として誕生し一般社団法人学習院桜友会として、今年創立100周年を迎えました。

終戦後、官立から私立となつた学習院は昭和二十二年（1947年）に哲学者で文部大臣だった安倍能成を院長に迎えます。

安倍院長は皇室との関係を尊重しつつ

正直第一 指揮 / 安倍能成

学習院桜友会
- 北海道桜友会 -
<https://www.gakushuin-ouyukai.jp/>



100

正直第一 指揮 / 安倍能成